



Matsunaga Head Line News

[マツナガ・ヘッドライン・ニュース]

〒339-0043 埼玉県さいたま市岩槻区城南五丁目6番6号 TEL:0120-980-633 FAX:048-798-0075

MATSUNAGA 感動創造建設会社

2024年11月発行 発行元:松永ホールディングス 発行人:松永大祐
www.matsunaga.gr.jp



2024 November Vol.55

工事表彰受賞者 インタビュー

CONTENTS

[INTERVIEW] インタビュー

P2 松永建設工事表彰受賞者インタビュー

[PROPERTY] 竣工物件

P4 箕輪橋外2橋補修工事(その2) / 永島歯科医院新築工事 / (仮称)江東区北砂六丁目店舗付共同住宅プロジェクト

P5 ADEL UKIMA FUNADO / 特別養護老人ホームやしおの郷

[TOPICS] トピックス

P6 岩槻まつり / 健康経営 / 社長少年 / スーパー耐久レポート



INTERVIEW [インタビュー]

優良工事表彰・難工事功労表彰・安全管理優良受注者表彰

R4 荒川第一調節池水位調節堰耐震対策他工事

——「優良工事表彰・難工事功労表彰・安全管理優良受注者表彰」とは、どういった表彰ですか？

伊丹：国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所発注の耐震対策工事で、荒川上流河川事務所長から表彰をいただいたものです。難工事指定の現場で良い評価点で終了できたので、「難工事功労表彰」をいただくことができました。

—— 難工事指定の現場とは？

現場状況や周辺環境などを鑑み、通常の現場よりも難しいとされる現場です。今回は和光市と戸田市にまたがる湖「彩湖」での工事で、水位が上昇するなどイレギュラーの多い耐震工事でした。また彩湖周辺が自然保護地区で貴重な動植物が生息しているので、極力音や振動を減らすような施工方法を採用しました。植物に関しては分布図があるので、柵をつける場所も考慮しながら進めました。



土木事業部 係長 伊丹 健一

—— そういった工夫も踏まえての表彰だったんですね。

そうですね。それから、発注者様とコミュニケーションを重ねたのも評価いただけたポイントかと思います。打ち合わせで問題提起をし、より良い方向に持っていくことができた結果、信頼をいただけたのが大きかったのではと考えています。

—— 工事を進めつつ、より良い方向に転換していったんですね。なにか印象に残っていることはありますか？

ダイバーによる調査した結果、想定通りの土砂が無かったということがありました。違う場所を調査したところ土砂はあったのですが、陸に上げる際のスペースに問題があり……当初の予定と異なる施工になるため、かかる費用も変わります。このようなイレギュラーが起きたときも、都度いねいに確認をとりながら進めていきました。

—— なるほど。費用や方法が変わるとなると、お互いが納得できる着地点に持っていくのは大変そうですね。

私たちが最大限できることをやりますが、どうしても難しくかつ

たり、コスト的に合わなかったり……そこをすり合わせていくのは大変でした。心掛けたのは、頭ごなしに「無理です」と言うのではなく「こういう方法だったらできます」「ここにコストをかければできます」と提案しながらご判断いただくこと。発注者様にも様々な事情や背景がありますので、そのあたりも踏まえながら進めることができたのが良かったのかなと思います。要は、お客様の立場に立ったご提案でしょうか。打ち合わせに無策で行くのではなく、いろんな案をお持ちしたところを評価いただけたのではと考えています。あと、スピード感も心掛けました。

調査の結果、半年かけて打ち合わせしてきた工事が取りやめになったこともありましたが、それでも最終的にコストに見合うものを作ることができたので、納得いただけたのだと思います。

—— 表彰されて、率直にどう思いましたか？

やっぱり嬉しかったです。また「大変だったな」ということも実感しました。私がメインで発注者様とのやり取りをするのは、この現場で2度目だったんです。1度目は、ヒーヒー言いつついろんな人に助けをもらいながらやりました(笑)。

今回は2度目ということもあり、流れはある程度理解できていたと思います。でも通常よりも難しい現場だったので、そこをうまく進めることができ安心しました。トラブルが起きてから対応するのではなく、早め早めで打ち合わせして決めていくことができたのが良かったです。結果、現場でのトラブルは基本的に起きませんでした。

—— トラブルを未然に防ぎながら施工を進められたんですね。早めに判断するにあたり、心掛けたことはありますか？

発注者様側の担当の方と、密に連絡を取ることで。けっこう頻りに、メールや電話で意思疎通を図りました。必要があれば出張所に赴き、直接お会いしてコミュニケーションを取るようにはしていました。

—— 今回の施工で、技術面で印象に残っていることはありますか？

耐震補強工事の工程で、水面下の補強をする必要がありました。それにあたり角落とし(角材を積み重ねることで止水する仕組みのこと)をしたのですが、この資材がすごく大きくて。発注者様の倉庫に眠っていたものを使うことになり、引っ張り出して設置するのが大変でした。幅1m、高さ1.5m以上、長さは約10mで厚みも1m弱。ひとつあたりの重さは1.6tくらいです。そういうものを運搬し、ラフタークレーンで釣って落とし、水を抜いて工事をして……。「このくらい漏水してしまったら難しい」などシミュレーションをし、ポンプを24時間稼働させることでなんとか施工できました。また彩湖は東京に近いので、東京湾の

水位上昇も考慮する必要がありました。潮位の影響が大きい現場だったので、そのあたりも想定しながら進めました。



—— 東京湾の水位まで確認する必要があるんですね。

私は東京に近い河川工事の経験値が少なかったので、「水位上昇するんだ!」と驚きました。でも現場に1日いると実際に水位変化を感じますし、特に大潮のときは「こんなに上がるんだな」と実感しました。彩湖単体というより、東京湾とどれくらいの時間差で影響が出るのかなども調査しました。

—— 伊丹さんが仕事に向き合うにあたり、大事にしていることはありますか？

みんなそうだと思うんですけど、リスクマネジメントは大事にしています。いかにリスクの芽を摘むかは、我々の仕事ではとても重要なポイントです。あとは「良いものを作ろう」という意志と責任感でしょうか。……実際現場にいるときは「あれもしなきゃ、これもしなきゃ」と追われているんですけどね(笑)。

—— 表彰を受けて今後の目標があれば教えてください。

今回の表彰は現場の社員だけでいただいたものではなく、会社のバックアップがあつてのものだと思っています。

ですので、今後ほかの人が同様の工事を担当する際、私がバックアップできるように立場になれたらと考えています。



さいたま市優秀建設工事業者表彰 一般国道122号蓮田岩槻バイパス並木工区道路改良工事



土木事業部 グループリーダー 大居 武彦

—— 一般国道122号蓮田岩槻バイパス並木工区道路改良工事で、「さいたま市優秀建設工事業者表彰」を受けたそうですね。これはどのような表彰なのでしょう？

大居：土木・建築・営繕関係など、毎年分野ごとに表彰されるさいたま市の表彰制度があります。

今回は土木分野で優秀な工事評定だったということで「81点」をいただき、表彰されました。

—— 工事を振り返ってみていかがですか？

この工事が受注したのは3年ほど前でして、当時はさいたま市で遠隔臨場(ウェアラブルカメラやネットワークカメラなどを使用し、現場に行かず離れた場所から臨場を行うこと)が採用されていなかったんです。それを我々がプレゼンして試験的にやらせていただき、現在ではこのシステムを導入することがマストになっています。

—— 工事中から、表彰は意識していましたか？

作業に入る前から「賞を狙いましょう」という工事でした。予算が11億で工期が3年半と大きな現場だったのもあり、事前に社内施工検討会を行いました。検討会では、現場に出る者・営業など関係者7~8名で、現場の方針や気を付けるポイントなどを話し合いました。

さいたま市の土木での表彰は、数年獲れていなかったんです。ほかにもいろんな会社がありますし、狙って獲れるものではないので本当に良かったです。発注者のさいたま市としても力を入れていましたし、当初から近隣の配慮など懸念も多い現

場だったんです。

そこが難しくずっと手を付けられなかった工事だったので、やっと手を付けられたという状況でした。「この時期は工事してはいけない」など工期の制限もあり、決められた期間内で収めることができたのも評価のポイントだったと思います。



さいたま市優秀建設工事業者表彰 箕輪橋外2橋補修工事(その2)

—— 箕輪橋外2橋補修工事で「さいたま市優秀建設工事業者表彰」を受賞されたそうですね。これはどのような工事ですか？

岩倉:箕輪橋の補修工事で、岩槻側を実施しました。橋のひび割れ補修や欠けている箇所等の修理、それと国道122号の上の滑落防止がメインです。コンクリート構造物なので、どうしても経年劣化やひび割れがあるんです。それを長く使用できるようにするための工事です。122号の夜間工事でしたので、事故だけは起こさないように気を付けていました。122号は交通量の多い国道なので、夜間規制しながら工事するのが大変でしたね。

工事の8割は夜間でした。夜だとスピードを出し過ぎている車もいますし、現場の外にも気を配る必要がありました。

—— 工事にあたり、工夫したことはありますか？

従来だと、チョークで線を引っ張って長さを測って……と1本1本人の手でひびを見つけていたんです。今回は「ひびみつけ」(FUJIFILM)を導入することで、写真を撮るだけでひびを見つけれられるようになりました。従来と異なるやり方を提案し最新技術を導入したことが、評価に繋がったのではないかと思います。発注者も新しい情報を欲しいですし、私たちがIT技術を試してみたい。これで良かったら、今後も採用できますからね。今は人手

不足なので、ひびを1本1本探すのも大変です。これまでは2〜3週間かけていたことも「ひびみつけ」を使えば1日で終わりますので、だいぶ省力化できました。

でも最大の評価ポイントは、交通量の多い条件下で安全に仕事ができる環境を作ったことだと思います。事故が起きないように、コードレスライトを数台用意するなど作業場が明るくなるような工夫もしました。

—— 表彰が決まったときはどう思いましたか？

松永建設に入り32年経つのですが、表彰いただくのは初め



SE事業部 主任 岩倉 雄一

てなんです。狙っても獲れないものですし、様々なタイミングが合って表彰いただけたので嬉しいです。

—— 表彰を踏まえ、今後の抱負があれば教えてください。

最近部署が変わり、下水道専門になったんですよ。これまでのキャリアを活かし、お客様の目線で求められている仕事をしたいと思っています。



→P4にて工事内容を掲載しています

三郷市優秀現場技術者表彰 三郷市立彦糸中学校校舎改修工事

—— 「三郷市優秀現場技術者 表彰」とは、どのような表彰ですか？



建築部 主任 鈴木 久成

鈴木:三郷市から発注いただいた工事のなかで評価点が高く、それに伴って技術者が表彰されたものです。

—— 評価されたポイントはなんだと思いますか？

鈴木:学校運営に支障が出てしまうと不愉快な思いをさせてしまうので、音を出すときは休み時間を狙うなどタイミングを調整しました。

東:表彰いただいた三郷市立彦糸中学校校舎の改修工事は、学校ということもあり限られた時間でやらなくてはなりません。うるさくならないよう考慮して工事を行った結果、学校からのクレームもありませんでした。音が出る作業は学校が休みの日や

授業の無い日にやるなど、そういった工夫が評価されたのではないのでしょうか。



建築部 部長代理 東 正行

—— 時間割まで考慮すると、学校との連携も重要ですね。

鈴木:毎日、教頭先生と打ち合わせをしました(笑)。決まった仕事をただ単にやるのではなく、柔軟に工事を行ったのも評価いただいたポイントだと思います。休日も英検のテストが行われたりするので、生徒の負担にならないよう行事ごとすべて頭に入れていました。

—— 学校だと、スケジュールが急速変わるなど変更も多そうですね。

東:学校行事以外にも、いきなり選挙が入るなどはありますね。

現場には、その都度説明をしながら進めています。

—— 学校が現場ということで、ほかの現場との違いはありましたか？

鈴木:子どもたちから、直接「キレイにしてくれてありがとう」と言ってもらいました。

—— 最後に、今回の表彰を踏まえ、今後の目標を教えてください。

東:今回よりもっと良い点数を取りたいという意欲が湧いてきました。それを目指し、頑張っていきたいと思っています。

鈴木:表彰いただいたことで、自分がやってきたことは間違っていなかったと思えました。今年もまた中学校の改修工事をやらせていただけているので、ここでも学校と寄り添って一緒に工事を進めていきたいと思っています。



NACS 安全表彰 株式会社丸忠産業



株式会社 丸忠産業 執行役員 飯村 雄二

—— はじめに丸忠産業の事業内容を教えてください。

飯村:丸忠産業は松永建設のグループ会社で、仮設足場の工事やリース、リサイクル工場の運営などを行っています。

—— 「安全表彰」とはどのような表彰ですか？

NACS(NTTファシリティーズ、日本メックス、日比谷総合設備、共立建設、第一ヒューテック、日設、日比谷通商の7社で運営されている「NTT建築安全協議会」のこと)の安全大会でいただいた表彰です。我々はNTTの建物を維持管理する仕事が多

く、これまでの長い年月で評価いただいた結果だと思います。

—— 表彰を受けたポイントはなんだと思いますか？

日々社員が努力し、協力会社に対する安全教育などにも力を入れてきたことを認めていただいたのではないかと思います。NTTの工事はたくさんのルールがあるので、それらをしっかりと理解し、協力会社にも伝えることが大切なんです。通信局なので、工事の際になにかトラブルが起きると電波障害が起きてしまいます。すると携帯電話もATMも法人関係のインターネットも使えなくなるので、莫大な賠償金がかかるなど社会問題になってしまうんです。そのため安全管理や事故防止に関するたくさんのルールがあるんです。

—— 協力会社への安全教育で心掛けていることは？

協力会社にはNTTのルールを渡すだけではなく、わかりやすく言い換えて説明するようにしています。丸忠産業としてルール化して仕組みをつくり、それをきちんと守っていただくことに注力しています。クレーンでの落下事故などが起きると、電波障害だけでなく人命にもかかります。

だからこそまずは丸忠産業の社員教育をしっかり行い、各々が協力会社に教育できるような体制を心がけています。そのために、当たり前のことでも何度もしつこく繰り返し伝えるようにしています。月1回のミーティング、そして日々のコミュニケーションにも手は抜きません。

—— 今回の表彰を踏まえ今後の目標を教えてください。

グループ会社が賞をいただいたことは松永建設にとっても刺激になると思うので、良い相乗効果になればと思っています。



PROPERTY [竣工物件]



▶ 箕輪橋外2橋補修工事(その2) ◀

〈発注者:さいたま市〉

DATA

- 竣工年月:2023年12月
- 工事内容:橋補修工事 工事場所:さいたま市岩槻区



▶ 永島歯科医院新築工事 ◀

〈発注者:永島秀晃様 永島能衛様〉

DATA

- 竣工年月:2024年3月 規模/構造:地上2階建/鉄骨造
- 延床面積:435.6㎡ 敷地面積:1,063.64㎡ 所在地:栃木県栃木市

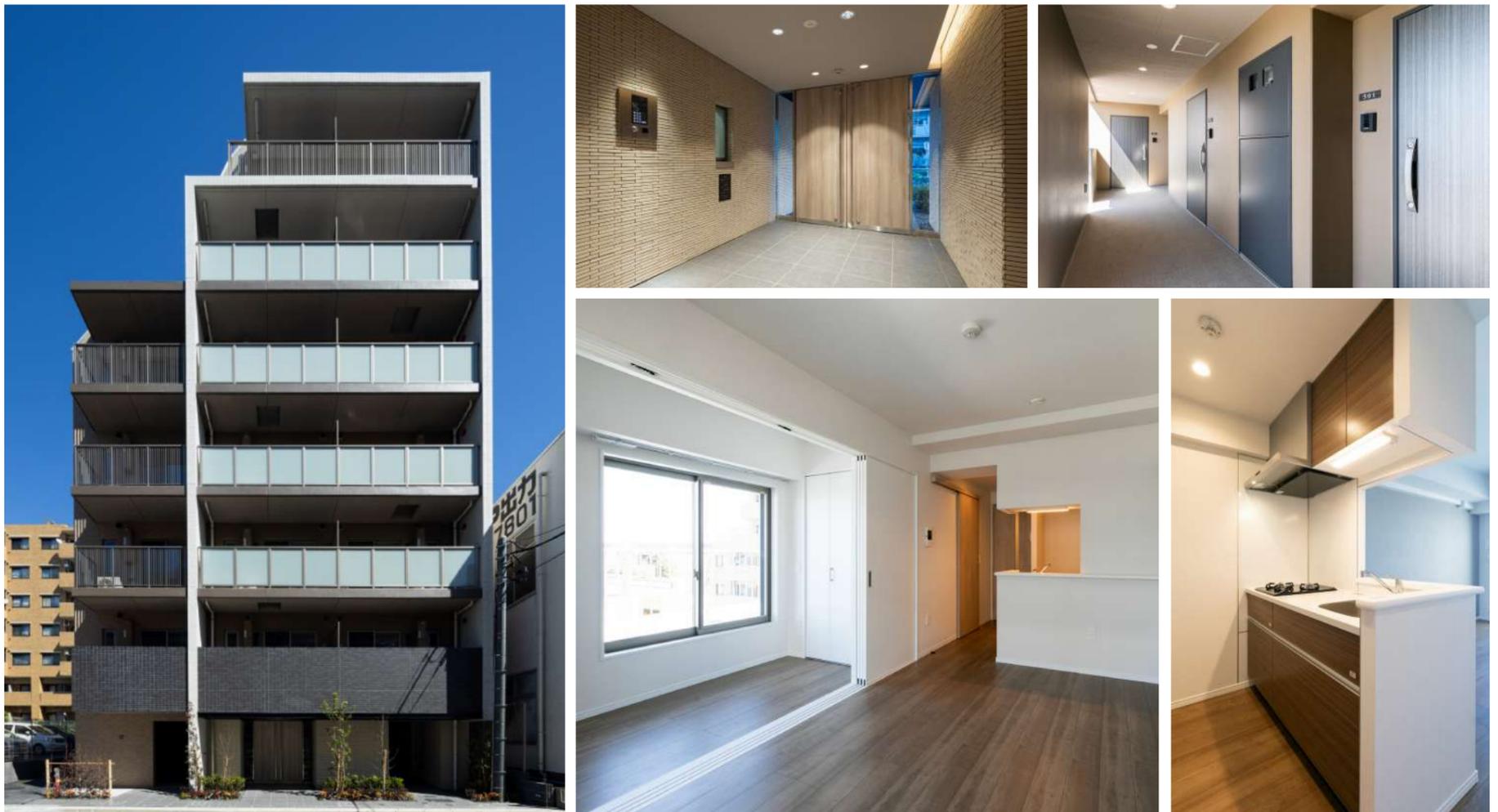
▶ (仮称)江東区北砂六丁目店舗付共同住宅プロジェクト ◀

〈発注者:M様〉

DATA

- 竣工年月:2024年6月 規模/構造:地上3階建/RC造
- 延床面積:908.4㎡ 敷地面積:453.45㎡ 所在地:東京都江東区北砂

PROPERTY [竣工物件]



▶ ADEL UKIMA FUNADO ◀

〈 発注者：株式会社フォーユー 様 〉

DATA

□ 竣工年月：2024年3月 □ 規模／構造：地上7階/RC造
 □ 延床面積：1,210.79㎡ □ 敷地面積：324.88㎡ □ 所在地：東京都板橋区舟渡



▶ 特別養護老人ホームやしおの郷 ◀

〈 発注者：社会福祉法人 信英会 様 〉

DATA

□ 竣工年月：2024年3月 □ 規模／構造：3階建/鉄骨造
 □ 延床面積：4404.28㎡ □ 敷地面積：6700.35㎡ □ 所在地：埼玉県八潮市

TOPICS [トピックス]

**松永建設グループ
「IWATSUKI FESTIVAL 2024」を開催しました！**

8月18日、「人形のまち 岩槻まつり2024」において、今年も松永建設グループ「IWATSUKI FESTIVAL 2024」を開催いたしました。

各ブースでは、かき氷や各種ドリンク、お祭りには欠かせない焼きそばやフランクフルトなど各種フードをご提供いたしました。

ステージ上では、Erinka様・Ree様、さいたま商工会議所青年部の皆様、西原梨央様・住廣奈津美様・澤田香明様、清原れな様をゲストにお迎えして迫力のあるパフォーマンスをご披露いただきました。

また、毎年恒例の松永社長率いる「マツナガオヤジバンド」をはじめとした当社社員のライブパフォーマンスもおこなわれ、お客様も社員も一緒になって楽しむことができました。

ご来場くださった皆様、誠にありがとうございました。



松永建設 2024ウォーキングラリー表彰式を行いました

松永建設は2024年度より経済産業省が定める「健康経営優良法人」に認定され、健康経営を推進しており、社員の健康促進のために食事や運動の情報配信や保健師による生活の相談窓口設置など、様々な取組みを社員自らが主体的に行っています。

その一環として「ウォーキングラリー」を開催し、社員全員で競い合いました。

各チーム、リーダーを中心に声をかけ合い、通勤や休日にゲーム感覚で楽しみながら歩数を競い合うことができました。

平均歩数や前月と対比したアップ率など、チームや個人の優秀者を表彰しました。賞品も今後の健康づくりに役立つものを選定し、一人一人にプレゼントしました。

「我々はみんなで強くて良い会社をつくる」の経営理念に基づき、今後も社員一人ひとりが心身ともに健康で活躍できる働きやすい環境づくりを推進してまいります。



テレビ埼玉 毎週月曜 21時45分～
絶賛放映中！

今まで、さまざまな「景色をつくってきた」松永建設が、「あなたの心の景色」を豊かにする素敵なインタビュー番組をテレビからお届けします。

先人たちの意志を受け継ぎ活躍しながらも、少年のような夢を追いかけ続けている魅力的な経営者や見事に夢を叶えた人々など。毎回お一人に子どもの頃の夢や人生の転機、大切にしているもの、未来への約束などをお聴きしていきます。

月刊 社長少年～Tomorrow Never Knows～

Episode 9 ▶ 「株式会社サイサン 川本武彦 社長」篇



アクセスはこちら



エピソード9のゲストは、株式会社サイサン 代表取締役社長 川本武彦様
LPガス事業をはじめ産業用ガス、医療用ガスなどを取り扱う業界大手のエネルギーサプライヤーです。国内外でもGas Oneブランドとして知られ、国内36都道府県、海外9カ国10拠点(2024年8月現在)に展開するグループ各社を牽引する社長少年。そんな彼の三代目として過ごした少年時代の夢とは？

Episode 10 ▶ 特別編「夢を叶える方程式 参議院議員 古川俊治さん」編

アクセスはこちら



エピソード10のゲストは、参議院議員 古川俊治様
医師であり、弁護士。さらにMBA(経営学修士)の資格も取得して政治の道へ進んだ異色の経歴の持ち主。少年時代の夢は、世界で活躍すること。その夢は、医療の奥深さと出会い外科医としての道を歩みながら、世の中の真理を追究するために様々な世界へ飛び込んでいくこととなります。その古川さんが大切にしているものとは？現代の若きリーダーたちに伝えたいメッセージとは？

RACE REPORT SUPER TAIKYU 2024

**TKRI松永建設AMG GT3 23号車
スーパー耐久シリーズ
現在ランキング首位!**



日本のレースでも有数の歴史を誇るスーパー耐久シリーズ。松永建設がスポンサーそしているTKRI松永建設AMG GT3 23号車は、2024年、頂点を目指すべくAドライバーのDAISUKE選手を筆頭に、スーパーGTでも勝利を挙げ絶好調の元嶋佑弥選手と、抜群の安定感とテクニックを持ち合わせるベテラン中山友貴選手の抜群のチームワークを誇る3人で臨む。

さらに今年からチームには、プロスタッフに加え、松永建設社員スタッフも参戦！ なれない作業にも真剣に取り組みマシンを万全な状態に仕上げている。

迎えた第1戦SUGO3時間は、速さをみせるもライバルチームとの戦略の差が響き2位でフィニッシュ！

続く第2戦FUJI24時間は、チーム初参戦ながらドライバー、スタッフが力を尽くし、果てしない24時間を戦い2位表彰台を獲得！

第3戦オートポリス5時間は、ライバルマシンの速さの前に惜しくも2位表彰台。シリーズランキングでは首位に浮上。

第4戦もてぎ5時間では、よもやもやのペナルティで優勝には届かずもシリーズチャンピオンに繋げる4戦連続の2位表彰台獲得。

第5戦SUZUKA5時間では、決勝直前の雨やトラブルに翻弄されるもチームの総合力で3位表彰台獲得。ランキング首位を堅持！

第6戦岡山では4位入賞を果たし、ランキング首位を堅持したまま最終戦に臨む！



TKRI松永建設AMG GT3 23号車の活躍は
YouTube「まつけんチャンネル_R」にて
ご覧になれます。

